

特急 ゆふいんの森



JRKYUSHU SWEET TRAIN 或る列車

特急 海幸山幸



特急 あそばーい!



特急 指宿のたまて箱

あなたは、「D&S(デザイン&ストーリー)列車」をご存知でしょうか?
九州各地に広がる美しい自然や沿線地域が持つ文化や特色。これらが織りなす「ストーリー」。そのストーリーを引き立てる「デザイン」。この2つを乗せて線路を駆け抜けるのが、「D&S列車」なのです。



九州新幹線・D&S列車の旅へ



九州新幹線 800系



特急 はやとの風



いさぶろう・しんぺい



特急 A列車で行こう



SL人吉

男子
女子

旭化成が4年ぶり31回目の優勝
ミキハウスが2年ぶり17回目の優勝

好天に恵まれた5月12日、新元号「令和」初の大会となる「内閣総理大臣杯争奪第59回西日本実業柔道団体対抗大会」は、恒例のペイコム総合体育館（尼崎市記念公園）において、男子70、女子5の合計75チームの参加で開催された。

今年の大会でもインターネット放送を実施し、開会式、第一試合場での全試合、および閉会式の模様をインターネットサイト「ユーチューブ」を通じて中継放送を行った。

9時45分、瀬戸口正征大会委員長の開会宣言で開会式が始まり、国歌斉唱、前年度各部優勝チームによる優勝杯、優勝旗返還の後、森 詳介大会会長が開会の挨拶を行った。森会長はその中で、「本大会は昭和35年の第1回開催以来、昭和、平成の長きを経て令和に至る今日まで、



開会式 森会長挨拶



来賓 尼崎市教育次長 北垣様挨拶

柔道をこよなく愛する方々が幅広く集い、柔道の裾野拡大に貢献してきた。柔道では、「礼儀」と「相手を思いやる気持ち」が大切だ。相手は敵ではなく自分を高めてくれる存在であり、互いに道を求める仲間として礼法が重視されている。相手と組み合う前に敬意を表する礼、終了時の感謝の礼。これらの礼に気持ちが込められれば、相手との心地よい関係が生まれる。本大会の参加者には、気持ちを込めた礼を心がけて欲しい。そして、日常においてもこうした礼法を大切にしながら、日々精進を重ね、立派な実業人として社会の発展に寄与されることを期待している。」と述べた。

来賓挨拶では、地元尼崎市を代表して尼崎市教育次長 北垣裕之様から歓迎の言葉を頂戴し、その後、尼崎市長 稲村和美様からのメッセージが披露された。選手宣誓は、昨年の男子一部優勝の日本製鉄 西山大希選手が堂々と行って開会式が終了。引き続き4試合場に分かれて試合が開始された。なお、本大会の各部決勝戦は、試合場に主審のみを配置す



日本製鉄
西山選手による選手宣誓



連盟役員

る1審制が採られた。（副審は試合場そばでケアシステムを使用して主審を補助。）



開会式全景

第59回 西日本実業柔道団体対抗大会成績一覧表

2019(令和元)年5月12日(日)・ベイコム総合体育館(尼崎市記念公園)

団体	優勝		準優勝		第3位	
	第一部	旭化成	日本製鉄A	日本エースサポート	九州電力	
	第二部	日本エースサポート	JR九州	ダイコ口	日本製鉄大分	
	第三部	鳥取刑務所A	日本エースサポート	加古川刑務所	東建大	
女子の部	ミキハウス	JR九州				

	氏名	所属
第一部最優秀選手：銅金賞(男子1名)	石内裕貴	旭化成
女子最優秀選手：岡林賞(女子1名)	山部佳苗	ミキハウス
第二部最優秀選手：米澤賞(男子1名)	アンドレス ジョーケーシー	日本エースサポート
第三部最優秀選手：龍村賞(男子1名)	中村竜平	鳥取刑務所A

	氏名	所属
松本賞：最優秀新人賞(男子1名)	安達健太	日本エースサポート
松本賞：最優秀新人賞(女子1名)	佐藤史織	ミキハウス

優秀選手	第一部 (3名)	氏名	所属
		尾原琢仁	旭化成
		上田轄麻	日本製鉄A
	第二部 (3名)	七戸龍	九州電力
		三井大輝	日本エースサポート
		五十嵐純平	日本エースサポート
	第三部 (3名)	本田貴英	JR九州
		美濃大将	鳥取刑務所A
		大島巧海	日本エースサポート
	女子の部 (3名)	磯村純也	加古川刑務所
		佐藤史織	ミキハウス
		池絵梨菜	ミキハウス
		友清あかり	JR九州



第一部優勝
旭化成チーム



第二部優勝
日本エースサポートチーム



銅金賞受賞
旭化成 石内裕貴選手



岡林賞受賞
ミキハウス 山部佳苗選手



米澤賞受賞
日本エースサポート
アンドレス ジョーケーシー選手



第三部優勝
鳥取刑務所Aチーム



龍村賞受賞
鳥取刑務所A 中村竜平選手



松本賞(男子)受賞
日本エースサポート
安達健太選手



松本賞(女子)受賞
ミキハウス 佐藤史織選手



女子の部優勝
ミキハウスチーム

広告・賛助の協賛団体・個人

(順不同・敬称略)

旭化成(株)
阿比野建設株式会社
(公財)尼崎市スポーツ振興事業団
(有)伊志嶺商会
泉谷 隆雄
市橋 敬男
伊藤整形外科
岩谷産業(株)
(株)内田組
NRM ホールディングス(株)
エフ・アール・ピーサービス(株)
(株)エル・スエヒロフードサービス
大阪ガス(株)
(株)オペレージ
関西医療学園専門学校
一般財団法人関西電気保安協会
関西電力(株)
関西七柔会囲碁の会
(株)関西プライダル
関西レコードマネジメント(株)
(株)かんでんエンジニアリング
関電サービス(株)
(株)かんでんCSフォーラム
関電ファシリティーズ(株)
関電不動産開発(株)
(株)環境総合テクノス
九州電力(株)
九州旅客鉄道(株)
九電テクノシステムズ(株)

京都医健専門学校
(株)キョクトウ
近畿通関(株)
(株)きんでん
(株)九櫻
(株)クラレ
京阪園芸(株)
京阪ビルテクノサービス(株)
恵風会高岡病院
(有)ケーズ
医療法人光仁会
港栄タイヤ商会
小山(株)
(株)コヤマホールディングス
(株)佐々木冷菓
サラヤ(株)
SANDYS(株)
医療法人十全会
学校法人常翔学園
日鉄興和不動産(株)
日本製鉄(株)
日本製鉄(株)広畑製鉄所
医療法人聖光園細野診療所
大金建設(株)
ダイコロ(株)
大日本電装(株)
大宝運輸(株)
(株)田村木材
田窪 宏一

柘植 陽三
東京六大学柔道部関西OB会
(株)トータルマリアージュサポート
東レ(株)
(株)戸高鋳業社
豊建商事(株)
ナニワ商事(株)
日新被服(株)
日本生命相互株式会社
日本電化工業所(株)
(株)日本トリム
日本被服工業(株)
初田防災設備(株)
(株)服部組
日立造船(株)
(株)フセナガセ
ホテル京阪天満橋
ミズノ(株)
三菱ケミカル(株)
(株)三菱UFJ銀行
宮野医療器(株)
(株)ミユキ
森 和義
(株)安川電機
吉川工業(株)
(有)隆祥産業
ワイエスフード(株)

ご挨拶



理事長 瀬戸口 正征

「令和元年、新天皇皇后両陛下
ご即位記念」として開催しました
が、選手・役員とも新たな気持ち
で大会に臨みました。参加頂い
た各チーム・選手の皆さん、そし
て広告賛助等多大なご支援を頂い
た企業や篤志の皆様のご協力のお
蔭と心より感謝申し上げます。

また平成6年第34回大会以降、四半世紀にわたり会場をご提供頂いた
尼崎市様には、毎年ながら格別のご高配を賜わり、誠に有難うございま
した。

ここ数年、やや減少傾向にあった参加チーム数が、事務局の呼びかけ
も功を奏し、4年ぶりに増加しました。来年の東京オリンピックを前に、
また当大会の60回記念大会に向けて、何より嬉しい兆候と思う次第です。
当連盟は創立以来、参加企業や役員の年会費は設けず、大会参加費も
極力少なく、その費用の多くを心ある企業や個人の広告・賛助協賛に
頼って参りました。改めまして厚くお礼を申し上げます。また当大会は
年度初めの開催でもあり、新入社の選手の登竜門ともなり、数多くの名
選手を輩出して参りました。

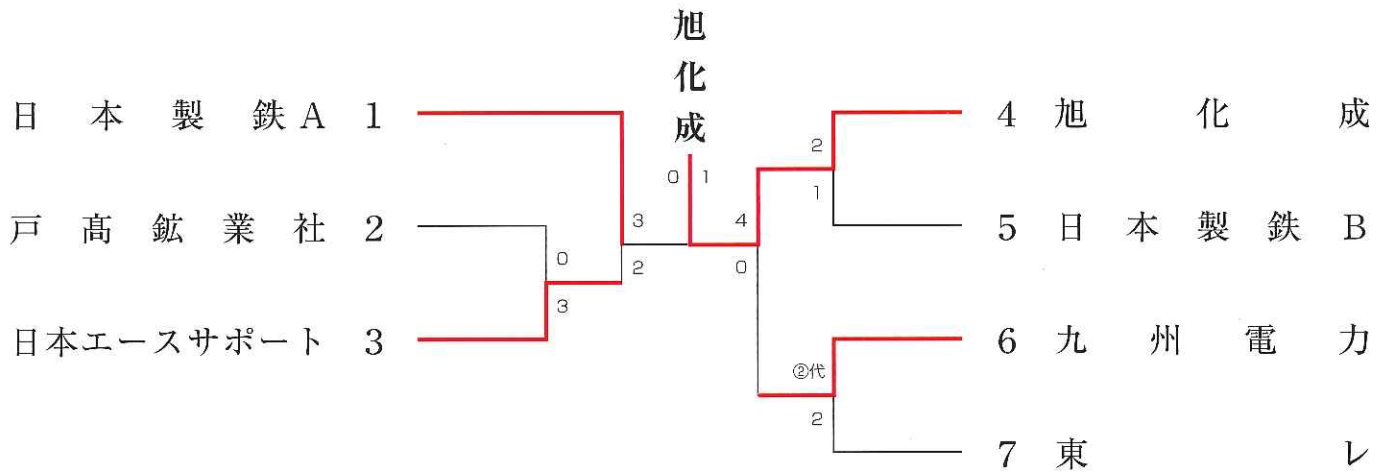
森 詳介会長の「頂は高く裾野は広く」をモットーに、日本を代表する
選手を育てる努力はもとより、仕事の合間に町道場で汗を流す仲間の交
流の場にもするべく、大会の企画運営を行っています。

今回も新しい取り組みとして、審判の国際標準にならない、決勝戦のみ
にはありますが、2方向からのケアシステムを用い、主審のみの1審制
にトライしました。また松本秀作副会長の主導で、知的障がい者(ID)柔
道大会やモンゴルとの国際交流のパネルも展示し、新たな視点で柔道に
向き合うこともできました。しかし一方、改善すべき課題も見えました
ので、役員の創意工夫によりさらなる前進を進め、来年の60回記念大会
につなげたいものと思っております。

何卒、今後とも、絶大なご支援ご協力を賜りますよう、心よりお
願い申し上げます。

各部勝ち上り表

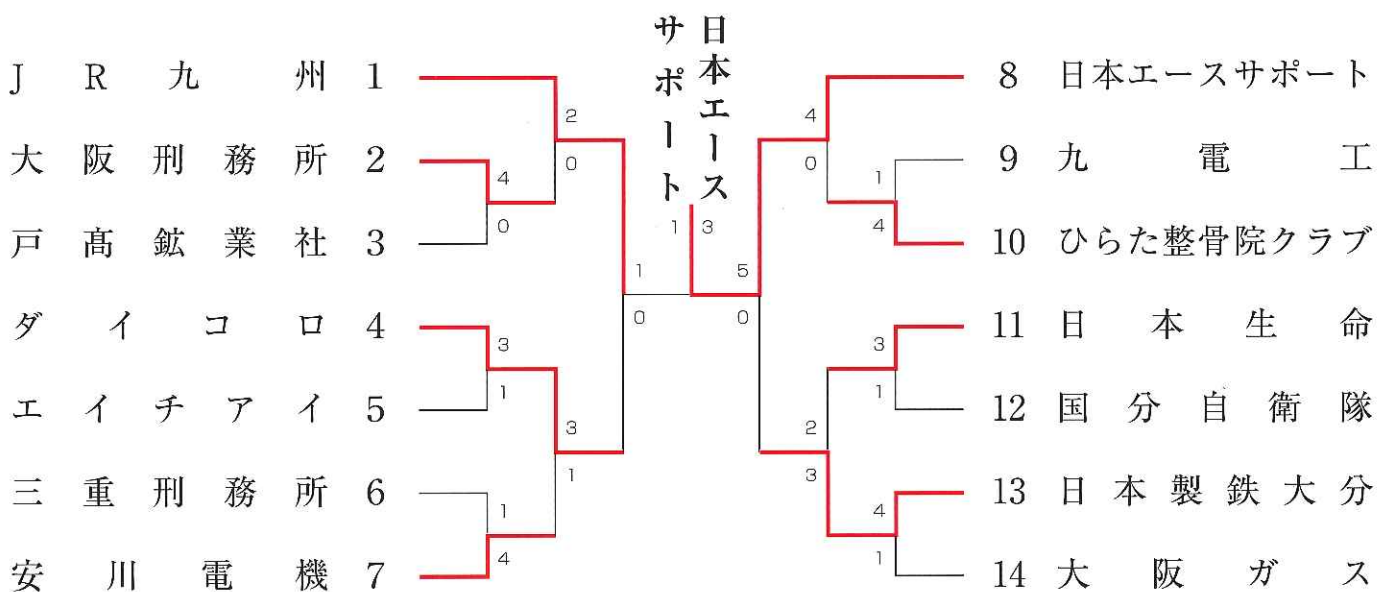
第一部



女子の部

チーム名	JR九州	ミキハウス	関西医療学園	日本生命	十全会回生病院	勝敗	順位
JR九州		0-3 ×	2-0 ○	3-0 ○	3-0 ○	3	2
ミキハウス	3-0 ○		3-0 ○	3-0 ○	3-0 ○	4	1
関西医療学園	0-2 ×	0-3 ×		1-2 ×	2-1 ○	1	4
日本生命	0-3 ×	0-3 ×	2-1 ○		1-1 △	1.5	3
十全会回生病院	0-3 ×	0-3 ×	1-2 ×	1-1 △		0.5	5

第二部



決勝(優勝戦)の戦い

女子の部



ミキハウス 佐藤選手、手数で勝り指導差2で先鋒戦を制す

第一部



副将戦 体格を生かし果敢に攻める旭化成 尾原選手

第二部



日本エースサポート 三井選手、相手の体勢を崩し技あり先取

第三部



大将戦 鳥取刑務所A 美濃選手、初出場の決勝戦を全一本勝ちで締めくくる

最優秀賞受賞者の戦い

岡林賞



実力通り圧倒的な強さを示したミキハウス 山部選手

銅金賞



決勝戦で勝利を収め優勝の立役者となった旭化成 石内選手

龍村賞



優勝の鳥取刑務所Aで大車輪の活躍をした中村選手

米澤賞



安定した試合運びで優勝に貢献した日本エースサポートのアンドレス選手

第59回西日本実業柔道団体対抗大会(審判)について

大会審判長 齋藤 俊郎



今大会では試合審判について2点の新たな取り組みを実施した。
1点目、「柔道着の乱れに対する新たな罰則」を採用
2点目、決勝戦において、試合場内一人審判制を実施

第1部の決勝は、場外反則で試合の勝敗が決まったが、これもケアシステムによる再確認をした結果、指導3回による反則負けの宣告となった。システム機器をフルに活用し正確なジャッジにつなげることができたことは、西日本実業柔道連盟としても成果の多い大会であったと思う。

て、試合場内一人審判制を実施

1点目については、試合前に審判員から選手に丁寧な説明したことで、罰則に対する混乱はなかったように思う。2点目の決勝戦一人審判制については、実業団として初めての試みであったが、器材の準備(ビデオ撮影位置)等、試合直前まで調整を重ねた結果支障なく対応することができた。

第3部は、昨年より10チーム多い49チームが参加した。初出場チームの活躍が目立つ大会となり、鳥取刑務所Aが初出場・初優勝を果たした。鳥取刑務所や同じく初出場3位の加古川刑務所には、来年度第2部での活躍を期待したい。

最後に、大会が無事終了できたことについて関係各位に感謝申し上げて申し上げます。

第3部は優勝した「鳥取刑務所A」で大車輪の活躍をした中村電平選手が最優秀選手(龍村賞)に選ばれた。優秀選手の美濃選手とともに、来年第2部でのさらなる活躍を期待したい。

第59回西日本実業柔道団体対抗大会(優秀選手選考について)

優秀選手選考委員 大槻 雄二



今回は、西澤俊和、吉原起人の両先生と大槻の3人で優秀選手選考委員を担当した。
第1部決勝戦は「日本製鉄A」と「旭化成」の戦いとなり、互いに譲らぬ

白熱した展開が続いた。結果的に最終大将戦で反則勝ちを収め優勝の立役者となった「旭化成」石内裕貴選手を最優秀選手(銅金賞)に選考、また代表戦に勝利したチームを3位入賞に導いた「九州電力」七戸龍選手を優秀選手に選考した。

第2部最優秀選手(米澤賞)は優勝の「日本エースサポート」から安定した試合運びでチームの勝利に貢献したアンドレス選手を選考した。「日本エースサポート」は、同僚の三井、五十嵐選手も優秀選手に選考されるなど層の厚いチーム布陣であった。

また、男子最優秀新人賞(松本賞)には、第1部において新人ながらチームの中心選手として活躍、素晴らしい技の切れ味を見せた「日本エースサポート」の安達健太選手が、女子最優秀新人賞(松本賞)は「ミキハウス」佐藤史織選手が優秀選手とダブルで受賞した。また、女子の部は「ミキハウス」池選手や準優勝の「JR九州」友清選手など新人の活躍が目立った大会でもあった。

受賞された各選手には、これまでの精進努力に敬意を表するとともに、引き続き本大会を盛り上げていただくよう切望します。

また、男子最優秀新人賞(松本賞)には、第1部において新人ながらチームの中心選手として活躍、素晴らしい技の切れ味を見せた「日本エースサポート」の安達健太選手が、女子最優秀新人賞(松本賞)は「ミキハウス」佐藤史織選手が優秀選手とダブルで受賞した。また、女子の部は「ミキハウス」池選手や準優勝の「JR九州」友清選手など新人の活躍が目立った大会でもあった。

第59回大会を終えて

事務局長 田中 裕二

第59回西日本実業柔道団体対抗大会は、最終ページ掲載の表の通り、第1回大会以来ほぼ連続参加（54回以上）の5社を含む、51回大会以降連続参加18の企業、団体が参加の一方、9企業、団体の初参加を得て開催いたしました。

幸い、大きな事故、負傷者もなく、令和最初の実業大会を執り行うことができました。改元を祝して声高らかに国歌君が代を斉唱した記憶も、改元の思い出と共に残ることと思います。

また、大会当日はもとより、2月1日開催の当連盟理事会・常任理事会から大会前日まで連盟スタッフは手弁当で大会準備に奔走いたしました。ここに大会当日における初参加チーム選手の奮闘ぶりや運営スタッフの様々なシーンを切り取って掲載いたします。お疲れ様でした。

初参加チームの活躍



中部電力(三重) 2回戦代表戦菅野選手



エイチアイ初戦大将富安選手



不二熱学サービス初戦先鋒林選手



イカイ九州初戦代表戦佐々木選手

運営スタッフと大会風景



声高らかに君が代斉唱



柔道を通しての社会貢献活動パネル



受付・プログラム販売



試合進行状況の把握



館内放送・女子高校生放送部



各試合場の記録を逐次集計



録画による確認(ケアシステム)



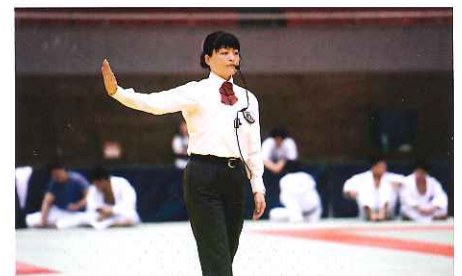
負傷選手のドクター治療



録画撮影(高校柔道部員)



決勝戦・副審と審判委員



決勝戦・一人審判(主審)

令和二年 連盟創立六十周年

本大会参加チーム中、第1回大会参加の4名の監督に、来年連盟創立60周年を迎えるに当たってメッセージを寄せて戴きました。

西日本実業柔道連盟 創立60周年を迎えるにあたって

日本製鉄監督 落合 幸治



この度は、西日本実業柔道連盟60周年を迎えられますこと、心よりお喜び申し上げます。日本製鉄柔道部は、本大会が第1回大会(当時)は読売新聞杯争奪近畿実業団柔道大会から現在に至るまで、59回連続で出場させていただいております。弊社柔道部にしましても、今年創部70年の節目を迎えましたが、これもひとえに、貴連盟各位の多大なるご尽力あつてのものとお深く感謝しております。

この西日本実業柔道団体対抗大会では、各ライバルチームと毎年優勝を競い合ひ、勝負の厳しさや勝利の喜びを経験させていただいております。今年1部での連覇が途切れましたが、来年の記念すべき60回大会では、王座奪還を目指し、歴史に恥じない戦いをみせたいと思っております。今後も貴連盟が益々発展されることを祈念しながら、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

西日本実業柔道連盟設立 60周年を迎えるにあたって

大阪ガス柔道部監督 松本 邦彦



この度は、西日本実業柔道連盟設立60周年にあたり、心よりお慶び申し上げます。大阪ガス柔道部は、文武不岐を旗印に、社業でしっかり勤めを果たし、自ら創出した時間のなかで柔道と向き合い心技体の向上を図ることで、人生を充実させ、また社会に貢献することを目指しています。

実業団柔道界に数々の名門チームがあるなかで、弊社柔道部は西日本実業柔道団体対抗大会に第1回大会(読売杯争奪近畿実業団柔道大会)から出場し、震災等業務都合による欠場を除き、第59回大会まで出場を続けております。これも文武不岐の気風があつてこそと、先輩方が積み重ねて来られた歴史を改めて誇りに思うところです。60年の時を経て、社会情勢や柔道界の構造の変化とともに、実業団柔道の役割も変化しています。弊社柔道部においても変化を成長の機会と捉え、選手育成、柔道を通じた地域共創、生涯柔道の実践により、実業団柔道の発展に貢献してまいりたいと思っております。

来年の第60回西日本実業柔道団体対抗大会では、先輩方が積み重ねて来られた伝統の重みに思いを致しつつ、堂々とした戦いを見せたいと思っております。1960年の設立以来、実業団柔道の発展に多大な貢献をしてこられた貴連盟に改めて敬意を表すとともに、実業団柔道の更なる発展を祈念し、簡単ですがお祝いの言葉とさせていただきます。

西日本実業柔道連盟 創立60周年を迎えるにあたり

京阪J-C監督 甲能 武



西日本実業柔道連盟が来年初創設60周年を迎えられますことまことにおめでとございます。さて、第1回大会出場チーム(当時は京阪電鉄)としてコメント

を書いてほしいと依頼を受けましたが、昭和35年といえまだ私が生まれる前のことで、そんなに長く出場を続けてきたのかと改めて驚いている次第です。現在私は監督を務めさせていただいておりますが、当時から何代にもわたってバトンをつないでできているわけで、そういう意味では、私で途切らせることなくこれからもチームをしっかりとつないでいきたいと思っております。チームを取り巻く環境は当時とは全く変わってしまいましたが、京阪グループという大きな枠で、柔道をやりたい者が集まって練習できる場を作っていきたいと思っております。そして日頃の成果を発揮できる場として、これからも引き続き西日本大会をはじめ出場していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。連盟が今後ますます発展されますことを心から祈念しております。

西日本実業柔道連盟 創設60周年について

東レ監督 西澤 昌樹



2020年(令和2年)、西日本実業柔道連盟創設60周年おめでとうございます。当社は、昭和35年(1960年)に開催された第1回大会「読

売新聞杯争奪近畿実業団柔道大会」から、現在の「内閣総理大臣杯争奪西日本実業柔道団体対抗大会」に至るまで、継続的に本連盟主催の大会に出場し、各企業、クラブ、公社等と優勝を競い合ひ、また親善を深めさせていただいております。これもひとえに、連盟関係各位のご尽力があつてのものとお感謝しております。今後も、創設当初の「人間形成と相互の友好親善を目的とする実業柔道、日本柔道の普及発展に努める」という基本方針のもと、連盟の益々のご発展を祈念いたします。当社としましても、微力ながらお力となるよう、継続的出場、そして第1回大会より第4回大会までの優勝チームとしてのプライドと誇りを持ち、古豪復活1部入賞を目標に日々精進してまいりますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。



大阪ガス初戦先鋒門田選手の背負投一本勝



日本製鉄二回戦中堅小川選手の内股一本勝



東レ初戦副将山本選手の横四方固一本勝

(前略)大会を主催する当連盟は、「全国実業団体体育連盟柔道部会」(後の「全日本実業団体柔道連盟」)。昭和37年5月に「全日本実業柔道連盟」と統合し、現在の「全日本実業柔道連盟」となる)の「全国各地、各府県に実業団の連盟を結成し基盤を強化しよう」との方針(昭和34年7月11日決定)に従い、昭和35年春「近畿実業団体柔道連盟」の名称で結成されたものである。この結成に当たっては、丸善石油(当時)の並々ならぬ熱意と、東洋レーヨン(当時)、富士製鐵(当時)、南海電気鉄道等に勤務する在野の柔道家達の奔走と、読売新聞社の全面的な協力があつた。(中略)

かくして、第1回大会は「読売杯争奪近畿実業団体柔道大会」と銘打ち、大阪府箕面市の丸善石油学院体育館で、5人制有段者の部(8段制)35チームと5人制段外者の部22チームの計57チームが参加して行われた。有段者の部は東洋レーヨン(当時)が、段外者の部は飯野重工舞鶴(当時)が優勝の榮譽を勝ち得た。

第2回大会は、昭和36年11月5日大阪市中央体育館で52チーム参加の下、第1部(15段制)、第2部(8段制)と段位制を変更して行つた。この年、「西日本実業柔道団体対抗大会」と改称するとともに、池田勇人首相(当時)から総理大臣杯が贈られ、大会の權威が高められた。(後略)

※四十周年記念誌「温故羅進」十八ページ
 「西日本実業柔道団体対抗大会の歩み」
 西日本実業柔道連盟参与 塩見 猛
 より抜粋

表 第1回大会から第59回大会までの大会参加状況

分類	チーム名	備考
59回連続参加	日本製鉄	富士製鉄、新日本製鐵、新日鐵住金
54回以上	東レ	東洋レーヨン滋賀工場、東洋レーヨン、東レ滋賀
	大阪ガス	大阪瓦斯
	クラレ岡山	倉敷レイヨン
	旭化成	旭化成レイヨン、旭化成延岡
49回以上	京阪	京阪電気鉄道、京阪電鉄、京阪J C
44回以上	三菱ケミカル広島	三菱レイヨン大竹、三菱レイヨン、三菱レーヨン大竹、三菱ケミカル大竹
39回以上	帝人松山	
	ダイコロ	(連続)

分類	チーム名	備考
34回以上	九州電力	(連続)
29回以上	日本生命	
	安川電機	
24回以上	神鋼環境ソリューション	神鋼パンテック
	肥後銀行	
19回以上	関西電力	
	日本エースサポート	(連続)
	三菱電機神戸	三菱電機
	関西医療学園	関西医療学園附属整骨院
	甲南柔友会	
41回以降 連続9回参加	九電工	上記チームを除く
	京都医健専門学校	
	十全会回生病院	
	ひらた整骨院クラブ	
第1回大会 参加チーム	大阪ガス、京阪J C、日本製鉄、東レ	

「二〇一九年度 総会・理事会・常任理事会合同会議」の開催

二〇一九年度総会・理事会・常任理事会合同会議は令和元年5月11日(土)15時からベイコム総合体育館(尼崎市記念公園)において開催されました。総会は、119名の正会員中、出席46名、委任状提出72名、合計118名により成立。議長には松本秀作副会長が選出され、第1号議案、第2号議案(左記の通り)とも満場一致で可決承認されました。

- 第1号議案 平成30年度事業報告ならびに収支決算報告について
- ①平成30年度 事業報告
 - ②平成30年度 収支決算報告
 - ③平成30年度 収支決算監査報告
- 第2号議案 二〇一九年度事業計画案、予算案ならびに役員一部改選案について
- ①二〇一九年度 事業計画案
 - ②二〇一九年度 予算案
 - ③二〇一九年度 役員一部改選案

連盟インフォメーション

☆当連盟のホームページ

<http://www.westjudo.jp/>

※本大会のより詳細な情報は当連盟ホームページをご覧ください。

※本大会第1試合場における試合の模様はインターネットサイト「ユーチューブ」を通じて録画をご覧いただけます。インターネットサイトから「YouTube」を立ちあげ、「westjudo」と入力してお進み下さい。

☆事務局

〒552-0001

大阪市港区波除6丁目5-18

近畿通関株式会社内

電話 06(6582)5412

Fax 06(6582)3391

Eメール jim@westjudo.jp

※電話に即答出来ない場合が多々ありますことあらかじめご了承ください。出来るだけEメールによるご連絡をお願いします。

発行日 令和元年7月1日
 発行 西日本実業柔道連盟
 発行人 西日本実業柔道連盟 理事長 瀬戸口正征
 編集 西日本実業柔道連盟 広報委員会
 印刷 ダイコロ株式会社



創造する技術集団



表面処理

表面処理事業部

鉄鋼事業 チタン事業

鉄鋼事業本部
チタン事業本部

機械組立 メンテナンス

吉川機械工業(株)

リサイクル

西日本オートリサイクル(株)
東日本資源リサイクル(株)

エンジニア リング

技術部
八幡ゴム工業(株)

エレクトロ ニクス

吉川ハイプレジジョンセンター
(株)吉川アールエフセミコン
PT.Yoshikawa Electronics Bintan
吉川高科技深圳有限公司

流通分野

物流事業部

RFID

RFソリューション事業部
(株)吉川アールエフセミコン

システム開発

(株)吉川システック



吉川工業株式会社
YOSHIKAWA KOGYO Co.,Ltd.

TEL093-671-8626 FAX093-661-3220

吉川工業 検索

[本社]〒805-8501 福岡県北九州市八幡東区尾倉2-1-2 <HP><http://www.ykc.co.jp/>